

## やきもの展のご案内

LIXILギャラリーは株式会社LIXILの文化活動としてやきもの展を開催しています。タイルから茶碗まで、やきものは私たちの心豊かな暮らしを彩ります。「生活とアート」をコンセプトに、森 孝一氏(美術評論家・日本陶磁協会常任理事)をアドバイザーに迎えたセレクションです。

# 高橋奈己展—白磁のかたち—

会期:2019年11月15日(金)~2020年1月21日(火)

会場:LIXILギャラリー



「実」  
2019年  
H34× W30×D30 cm

## 本リリースに関するお問い合わせ先 |

LIXIL ギャラリー ( [www.livingculture.lixil/gallery/](http://www.livingculture.lixil/gallery/) )

所在地: 東京都中央区京橋 3-6-18 東京建物京橋ビル LIXIL:GINZA 2F

担当: 大橋恵美 水野慶子

TEL: 03-5250-6530 Email: [xbn@lixil.com](mailto:xbn@lixil.com)



LIXIL ギャラリーでは2019年11月15日（金）～2020年1月21日（火）の期間、「高橋奈己展 ―白磁のかたち―」を開催します。

高橋奈己氏は果実やつぼみをモチーフとした白磁による独自の作品を制作しています。美術大学の陶芸コースを卒業後、イタリア・ファエンツィア国立陶芸美術学校に学び、2005年頃より国際陶磁器展美濃、菊池ビエンナーレ、日本伝統工芸展、日本陶芸展、パラミタ陶芸大賞展と数々の入選、受賞を重ねてきました。いまもっとも注目される若手陶芸家の一人です。

本展では、花器や造形作品に、茶碗や水指、茶器の茶道具も併せた計27点程を展示します。



白磁水指 2019年 H19×W18×D18cm

白磁茶碗 2019年 H8.2×W11.3×D11.3cm

白磁茶器 2019年 H7.5×W5.5×D5cm

## 開催概要 | 高橋奈己展 ― 白磁のかたち ―

会 期 2019年11月15日（金）～2020年1月21日（火）  
休 館 日 水曜日、2019年11月24日（日）、12月28日（土）～2020年1月5日（日）  
開館時間 10：00～18：00  
企画制作 株式会社 LIXIL  
会 場 LIXIL ギャラリー  
入 場 料 無料  
詳 細 <https://www.livingculture.lixil/topics/gallery/g3-1911/>

## 関連企画 | アーティスト・トーク

本展のアドバイザーである森孝一氏が高橋奈己氏へインタビュー形式でトークを行います。

開催日時 2019年11月15日（金）18：00～18：30

会 場 LIXIL ギャラリー2F

## | 展覧会の見どころ |

高橋奈己氏は、当初より一貫して自然の植物の種や実、花のつぼみをモチーフに白磁の作品を制作しています。その独自の造形は、丸いフォルムの側面をエッジの立った曲線で覆い、そのエッジのつくる陰影の濃淡によって生じる多様な表情が特徴です。光の陰影を帯びた作品は白磁の凛とした佇まいの中に、自然の生命力を内包した力強さを感じさせます。

高橋氏は自然の不規則なかたちを表現するために、全体を複数のパーツに分けた鋳込み技法によって作り、鋭いエッジのラインは成形後に再び整えられます。

モダンで現代的な感覚にあふれた作品は、近年茶の湯の世界でも人気を得ています。そして、茶室独特の光の中に映える陰影のかたちや美しさを探究することで、さらに作品は新しい魅力を増しています。

## | 作者略歴 | 高橋奈己 (TAKAHASHI Nami)

- 1997 武蔵野美術大学短期学部専攻科 (陶磁コース) 卒業
- 1997~1999 ファエンツァ国立陶芸美術学校在籍 (イタリア)
- 1999 グループ展 (ファエンツァ・イタリア)  
「国際陶芸シンポジウム」参加  
グループ展「アートセラミカトロヤン99」 (ブルガリア)
- 2000 個展 (INAXガレリアセラミカ・東京)
- 2003 個展 (Gallery Jin・東京、2004)  
「第21回朝日現代クラフト展」入選 (阪急百貨店・大阪/横浜、2004、2005、2006、2007、2008)
- 2005 個展 (乾ギャラリー赤坂・東京、2008)
- 2006 「第44回朝日陶芸展」入選
- 2008 「一わかもん展ー」 (陶彩 新橋・東京)  
「第8回国際陶磁器展美濃」入選 (2014、2017)
- 2010 個展 (柿傳ギャラリー・東京、2012、2014、2016、2018)
- 2013 個展 (リスン青山・東京/リスン京都・京都)  
「第5回菊池ビエンナーレ」入選 (2015、2017、2019)
- 2015 「一点展」 (SHISEIDO THE GINZA・東京)  
「第8回現代茶陶展」入選 (2016、2017、2019)
- 2016 「現代茶の湯工芸展：流儀を問わず今を問う」 (伊勢丹新宿店・東京)  
「FINE ART ASIA」 (艸居ブース 香港)  
「SOFA CHICAGO」 (艸居ブース シカゴ・アメリカ)  
「近代工芸と茶の湯Ⅱ」 (東京国立近代美術館工芸館)  
「第63回日本伝統工芸展」新人賞  
「第50回女流陶芸展」T氏賞
- 2017 個展 (日本橋三越美術サロン・東京)  
個展 (GALLERY YUNOR 白金台・東京)  
個展 (現代陶芸サロン桃青 大阪大丸心齋橋店・大阪)  
「COLLECT 2017」 艸居ブース (ロンドン・イギリス)  
「現代作家茶碗特集展」 (日本橋三越・東京、同年、2017、2018、2019)  
「清州工芸ビエンナーレ」 (韓国)  
「国際北陸工芸サミット「ワールド工芸100選」」展 (富山県美術館)  
「第3回金沢・世界工芸トリエンナーレ」入選  
「第42回日本陶芸展」茨城県陶芸美術館賞  
「第57回東日本伝統工芸展」入選 (2018,2019)  
「第64回日本伝統工芸展」入選 (2018,2019)
- 2018 「陶芸～新世代の技とかたち～」 (札幌芸術の森工芸館・北海道)  
「国際陶磁器フェスティバル美濃 桃山から現代へ志野、織部 伝統の継承展」 (横浜そごう美術館・神奈川)  
「日本×ファエンツァ姉妹都市・国際陶芸展・陶芸学校 交流の軌跡展」 (ファエンツァ・イタリア)  
「第11回現代茶陶展」 TOKI 織部大賞
- 2019 個展 (アートサロン光玄 名古屋・愛知)  
「質感」 稲葉周子・内田翠・高橋奈己 (現代美術艸居・京都)  
「岡田文化財団設立 40 周年記念 第14回パラミタ陶芸大賞展」 (パラミタミュージアム・三重)



LIXIL は、創業期のクラフトマンシップを今に語り継ぎ、常に建築家やデザイナーと手を携え、機能性と洗練された美しさの融合を追求してきました。それこそが、私たちが掲げる「LIVING CULTURE」というコンセプトです。私たちはミュージアム、ギャラリー、資料館および出版活動を柱とした文化活動を通して、ものづくりの技と心を次世代に伝え、斬新なアイデアを発信する場を提供し、LIVING CULTURE を表現していきます。LIXIL は、ものづくりにこだわり、ライフスタイルや時代に合った美しく機能的な製品を作り続けることで世界中の人びとの豊かで快適な住生活の未来に貢献していきます。